

サワガニ

一般的によく知られているカニです。唐揚げなどで食べられますが、寄生虫がいる可能性があるため、しっかり加熱する必要があります。

甲羅（こうら）の幅は3 cm程度まで成長し、体は赤褐色、ハサミと脚は赤色です。

主に、河川の中流域から上流域、沢、湧水地に生息しています。

雑食性で、藻類や水生昆虫、ミミズ、魚類の死体などを食べます。

春から初夏にかけて交尾を行ったあと、メスはお腹に卵をかかえて保護します。幼生は卵の中で変態し、孵化（ふか）する際には稚ガニとなって出てきます。稚ガニも母ガニのお腹で保護されて過ごします。本種は、モクズガニやアカテガニなどと違い、一生を淡水域で暮らします。



富士市での現状

河川の上流域、湧水地で確認されました。

サワガニを確認したメッシュ

